

12月定例会のお知らせ（予定）

一般質問

9月1日から4日、7日の5日間にわたり、34名の議員が市政を取り巻く諸問題について、意見・提案を交えながら、市長などの考えをいただきました。質問、答弁の要旨は次のとおりです。
※議長と副議長は、町田市議会では一般質問を行わないことになっています。

各議員のタイトル下から一般質問の録画映像にアクセスできます。
※動画の再生には別途通信料がかかる場合があります。



市民病院救急科開設へ前進！



おぜき重太郎 町田市長

救急応需率向上に向け、これまでどのような取組を行い、どのような成果が得られているのか。

病院事業管理者

ベッドコントロール強化などの結果、26年4月から7月で応需率77・9%となり、25年度から9・3ポイント上昇しています。

救急医療体制の強化は、

病院経営にどのような効果をもたらしているのか。

救急科の開設を含め、今後どのように救急医療体制を強化していくのか。

市長

病院事業管理者と緊密に連携し、必要な支援を行ってまいります。救急科設置は、27年度にできるだけ早期に設置を目指してまいります。



災害の備え、生活支援の改善を



大野まこと (日本共産党)

災害に備え、TKB48の立場で避難所の整備、アンダーパスの水没対策を求める。

防災安全部長

都指針に沿って、生活環境等の整備を進めています。災害用トイレは協定など多様な手段を確保し、炊き出し釜で温かい食事の提供が可能、状況に応じて段ボール簡易ベッドの供給を受けることとなっています。

道路部長

対策として、側溝や排水ピットの清掃、排水ポンプの点検を行っています。

補聴器購入助成制度の対象拡大・補助増額を求める。

いきいき生活部長

対象者の拡充や助成額の引上げは考えていません。

小児インフルエンザ予防接種助成を近隣市でも利用できるようにすべき。

保健所長

26年10月からの助成は市内で始め、接種実績を着実に積み重ねていきたい。



町田リス園の施設なのかは



白川哲也 町田市長

土地・建物を市が所有する町田リス園は、市の事業か、運営法人の自主事業か。

地域福祉部長

慣例的に協働で事業を行ってきたものの、一概に割り切れるものではなく、今後、整理していくべき課題と捉えています。

現在の町田リス園は市の公の施設ではないのか。

地域福祉部長

維持管理、運営については、その土地建物

物を無償で借り受けたNPO法人町田リス園が行っており、公の施設にはしていません。

公の施設とするには設置条例を定める必要がある。その場合、運営手法は市の直営か指定管理者制度に限られるのか。他の方法はあるのか。

地域福祉部長

公の施設の管理は、地方自治法上、市が直接運営するか、指定管理者制度を導入して運営を委託する方法しかありません。



豪雨・子育て支援



友井和彦 (諸派)

豪雨への備えとして、アンダーパスなどの冠水対策を問う。

道路部長

側溝や排水ピットの清掃、排水ポンプの点検などを行っています。気象情報の注視と迅速な情報把握を行い、注意喚起を行うなど、安全確保に努めていきます。

物価高・インフレへの

支援として、都市計画税の課税をなくすこともできるが。

市長

議員のご意見も踏まえながら、今後の計画を立てていきたいと思っています。

次世代の子どもたちのため「ボール遊び」ができる公園の拡大を求める。

都市整備担当部長

管理方法やほかの公園利用者への影響などを考える必要はありますが、地域の方々と話し合い、ボール遊びができるスペースをつくるという検討はできるのではないかと考えています。



陰山メソッドによる教育の成果に



新井よしなお (無所属)

小山田南小学校で令和6年12月から始まった陰山メソッドの取組の成果は。

指導室長

令和8年度の全国調査で小山田南小は、25年度から国語は8ポイント、算数は10ポイント上昇しています。様々な教育活動の成果が現れたものと認識しています。

漢字前倒し学習で学年

の漢字を習熟して漢和辞典活用による熟語習熟の意義は。

指導室長

国語科の指導方法及び指導計画の工夫の一つと捉えています。

基礎・基本を徹底した結果、記述式など応用力を問う問題も大きく伸び、無答が減ったことをどう評価するか。

指導室長

基礎的、基本的知識及び技能の定着によって児童が思考力、判断力、表現力を問う記述式問題に前向きに取り組む姿勢につながった可能性はあると捉えています。



夏期学校プール開放を求め！



渡辺徹太郎 町田市長

多くの市民から夏期学校プール開放を求める声が集まった。市はかたくなに廃止方針だが、市民の声を聴くとする市長の公約との整合性は。

市長

しっかりと市民の声を聞いた上で政策判断に結びつけてまいりますので、今回もその基本的な方針は変えるつもりはございません。

市民営化できなければ廃止される桜実会の存続のため

減免措置を含む配慮を求む。

いきいき生活部長

他市事例等も参考に必要な条件等の検討を進めているところでです。

半年に迫った花博において交通対策と町田の宣伝を。

経済観光部長

南町田グラ

ンベリーパーク駅のブースでは、市の花や緑に関連した施設などのPRをしていきたい。

道路部長

カーナビなどを運営する業者へ協力依頼などを行っていると同っています。

松葉ひろみ (公明党)

待機児童ゼロを目指す上で、東京都の制度も積極的に活用すべきではないか。

市長

保留児童の保護者も利用可能となります。東京都の事業者連携型ベビーシッター利用支援事業の導入に向けた検討を現在進めているところ

でございます。

単身高齢者が万一の事態に陥った際のために、横須賀市の「終活登録事業」の仕

組みが必要ではないか。

いきいき生活部長

国が検討している第二種社会福祉事業や他自治体の動向を注視しながら研究していきます。

周産期グリーンケアとして、流産や死産等を経験された方への産後ケア利用を。

保健所長

国から示されているガイドラインに基づき、現在、流産、死産を経験された方への産後ケアの利用方法について検討を進めています。



動画の環境活用



小沢タケル 町田市長

動画による情報発信の有用性への認識と現状は。

政策経営部長

情報発信媒体として有用と意識しています。町田市公式動画チャンネルを09年に開設し、以来、多くの動画を公開してきました。今後動画を含め多様な媒体を適切に使い分けながら、効果的、効果的な情報発信に努めていきます。

小山田エリアにおける

里山環境再生・活用について。北部・農政担当部長 24年度に基本構想を策定し、民間活力導入に向けた課題などを整理しました。担い手が圧倒的に不足しているということについては、小山田エリアの拠点施設整備を見据え、散策やマウンテンバイク等のアクティビティ、農業体験、木工体験などのコンテンツづくりに向けた実証実験イベントを26年度中に実施します。



市街地／ごみ収集／パスポー



加藤真彦 町田市長

D地区の集客施設整備について。

市長

2000席から3000席規模の集客施設と広場が融合したモリノホール+パークの整備を目指すことを決断いたしました。

週5日収集体制に向けた進捗状況は。

環境政策課長

安定的な収集体制確保のため、週5日収集への移行が必要と考え、検討を進めているところです。

町田市へのパスポーセンター設置に向けた市の認識は。

市民部長

利便性向上と財政負担のバランスなどの課題があります。課題を解消できるのであれば設置する意義はあると考えています。課題にはパスポー発給の仕組みに関わることも含まれ、国や都にも影響がありますので、機会を捉えて協議していきます。

小野寺まなぶ (公明党)

地域の実情を熟知した民間事業者の協力を得ながら、迅速に応急復旧活動を進めるための体制づくりは。

防災安全部長

平時から顔の見える関係を築くことで、一体となって従事できる体制づくりに取り組んでいきたい。

情報交換を重ね、応急復旧体制の強化につなげていきたい。

不適物の混入を減らすため、収集袋にさらに分かり

やすい注意書きの工夫を提案。

循環型施設担当部長

袋の注意書きや市民への普及啓発について検討していきます。

生成物の活用は、負担が重く、一定の支援を行うことが必要であると考えているが。

環境政策課長

陶磁器や廃食用油などを地域で無料回収して資源化しています。リサイクル工場場で回収する予定です。まずは市へ相談いただいで、解決策を考えていきたい。



交通渋滞対策にA-1の活用を



若林章喜 町田市長

混雑時、信号を最適化する「スマート信号システム」の導入に向けた考えを問う。

道路部長

監視カメラからの協力の要請があった際には、連携して取り組んでいきます。

忠生地区まちづくりの

充実したにぎわいのあるまちづくりを進めていく必要があると考えております。これまでに活動に対してどのような認識か。

市長

市と地域の皆様による徹底的な議論から形づくられたまちづくりへの思いが忠実に受け止めながら、地区の魅力をより一層高めてまいります。



身寄りのない高齢者等への支援



岩瀬和子選ばれる町をつくる会
身寄りのない高齢者等に対し、相談から死後事務まで切れ目なく支援を。
いきいき生活部長 家財処分や葬儀の手続について相談があった場合には、親族の代わりに対応する民間事業者があることをご案内しています。
27年4月からは、町田市社会福祉協議会において75歳以上の身近に頼れる親族がいない方などを対象に、終身サポート事業であるまちだあんしん終活便を開始する予定です。

鶴川駅開業100周年
を契機に鶴川の歴史や文化を次世代に継承を。
都市整備担当部長 現在、開業100周年に関するイベント等は計画していませんが、27年度末に南北自由通路と新しい駅舎が使用開始となる際には、小田急電鉄株式会社と連携し、式典の開催等について検討します。



スポーツイノベーションの具現化を



ふじた学（諸派）
スポーツイノベーションの具現化を。
市長 市全域で町田のスポーツ資源を生かしたまちづくりを行ってまいりたい。

国家プロジェクト「みどりの食料システム戦略」と連動しオーガニックビレッジの創出を。
農業委員会会長 有機農業者、慣行農業者も互いの技術や役割を理解し、尊重し合い、

保健所長 関係機関等との連携による相談支援の充実などを通じ、市民の生命と健康を守り育む意識の醸成や体制の構築を進め、積極的に市民の健康増進や健康寿命の延伸につなげていきたい。



学童・第三者評価・環境行動



森じゅん子（公明党）
学童・第三者評価・環境行動
子ども生活部長 今後、市内事業者の受審ニーズ、また他市の補助事例ですとか、第三者評価受審の実態について把握していきたいと思っています。

環境政策課長 E・I・C・O・T ナビを使用して、LINEを活用した環境に関する情報発信についても検証予定です。

環境政策課長 E・I・C・O・T ナビを使用して、LINEを活用した環境に関する情報発信についても検証予定です。



市長の展望／ペット／公共工事



森本せいや（諸派）
市長の展望／ペット／公共工事
保健所長 25年12月に訓練を初めて実施し、今後の開催も関係者と協議していきます。

財務部長 ナフサを由来とする建設資材について、経費が生じた場合は、全額市で負担することを検討しています。



笑顔あふれる町田を目指して



熊沢ありや（国民民主党）
笑顔あふれる町田を目指して
総務部長 引き続き運営法人の方と丁寧な対話を重ねながら、公の施設へ向けて必要な手続を行っていききたい。

市長 業界の関係団体とともに安全安心で大切な家族や仲間と同じテーブルを囲み、笑顔で食事ができる、優しさ

経済観光部長 関係支援機



女性支援新法を生かした市政を



細野龍子（日本共産党）
女性支援新法を生かした市政を
市民部長 策定中の第6次町田市男女平等推進計画は、専門的支援を包括的に提供するとともに、関係機関の協働による早期かつ切れ目のない支援体制の構築に向け、連携強化を予定しています。

地域福祉部長 他市の状況を注視し研究していきます。

地域福祉部長 他市の状況を注視し研究していきます。



デジタル文化総合戦



おんじょう由久（公明党）
デジタル文化総合戦
町田市デジタル文化総合戦略2026のポイントは、戦略の方向性を堅持しつつ、戦

町田市に資する多文化共生社会への取組強化が必要だが、市の考えは。
堀副市長 町田市多文化共



ドローン・犯罪被害者・RS



馬部ゆきまさ（公明党）
ドローン・犯罪被害者・RS
定期的に行われているドローン操縦訓練の成果を市民に披露する場を設けては。

防災安全部長 消防団には都より貸与されたドローンが2台配備されています。団員のモチベーション向上や市民の防災意識向上に資するご提案をいただきましたので、披露する場を検討していきます。

市における犯罪被害者支援の現状は。



小学校に校内教育支援センター



田中みほ（日本共産党）
小学校に校内教育支援センター
学校教育部長 不登校児童生徒への支援策として有効な手法と認識しています。財源の確保に加え、多様なニーズを持つ子どもたちに対応するための活動内容や運用形態等、引き続き検討していきます。

不登校児童生徒への食費相当の支給は実態に合わせた制度設計を。

不登校児童生徒への食費相当の支給は実態に合わせた制度設計を。



動物愛護／子ども食堂の周知



イスレスつばさ（まちなみらい）
動物愛護／子ども食堂の周知
連絡会にて決定しています。
町田駅前再開発はいつの間にか、市が最も重視している効果は何か。

中心市街地・モノレール推進担当部長 経済効果が重要だと考え、持続可能なまち、将来も活気あふれる、にぎわいあふれる町を目指すために実施していくと考えています。



町田駅前再開発に民間活力導入を



渡辺さとし（まちなみらい）
町田駅前再開発に民間活力導入を
町田駅前再開発はいつの間にか、市が最も重視している効果は何か。

中心市街地・モノレール推進担当部長 経済効果が重要だと考え、持続可能なまち、将来も活気あふれる、にぎわいあふれる町を目指すために実施していくと考えています。

再開発専門の部署を立ち上げ、中心市街地に事務所を設置すべきかどうか。



戦争のない平和な日本と世界を



殿村健一（日本共産党）
戦争のない平和な日本と世界を
戦後81年、国連憲章と憲法に基づく平和外交が求められている。戦争と平和について、市長の認識を問う。

市長 相互理解を深められよう、歴史的な事実を多面的に学ぶとともに、戦争の悲惨さを語り継いで、失われた命の尊さと平和の大切さを次世代へ継承していくことが非常に重要だと考えております。

市長 相互理解を深められよう、歴史的な事実を多面的に学ぶとともに、戦争の悲惨さを語り継いで、失われた命の尊さと平和の大切さを次世代へ継承していくことが非常に重要だと考えております。



災害支援派遣は町田市で判断を



吉田つとむ（無所属）

町 令和8年8月の千葉豪雨災害の支援に関して、町田市は東京都の要請が無いからという理由で支援の体制を取っていないが、それで事足りて良いのか。

政策経営部長 各自治体が独自に被災地へ直接連絡を取り、支援の申出を行うことはかえって現地の負担を増やし、混乱を招くおそれもあります。協定を結んでいる都市は別と



ICT教育／香害／歴史教育



前田げんき（無所属）

町 ICT教育が基礎学力に与える影響について。

指導室長 自ら文字を書くことは重要と認識しています。デジタルと紙の教材を組み合わせてやることで資質、能力をバランスよく育んでいきます。

教科書選定基準における郷土愛の位置づけについて。

指導室長 郷土愛の醸成といった観点はありませんが、選定基準に地域性に合っている



脱プラ／フグリー



笹倉みどり（まちだみらい）

町 全量プラ収集の際には自治体主導で資源化の手法や事業者の選択が可能なルートの採用を求めるかどうか。

循環型施設担当部長 容器包装プラスチックに加え、製品プラスチックの一括収集を検討しています。この検討に併せて、研究していきます。

樹冠被覆率をみどりの指標に採用してはどうか。

都市整備担当部長 都の考



子どもポ／犬猫



小野りゅうじ（まちだみらい）

町 忠生スポーツ公園の防犯カメラの目視点検が必要だと考えるかどうか。

都市整備担当部長 事案を受けて防犯カメラの日常的な点検を徹底するように各指定管理者に通知をします。

マイクロチップの装着確認を確実にしている運用に改善すべきだと考えるかどうか。

環境資源部長 へい死動物への装着確認は引取り業務の一部としてマニュアル化し、継続して実施していきます。

就学時健診の案内の送付時に、保護者が事前に必要な配慮を申し出る仕組みを設けてはどうか。

学校教育部長 世田谷区などでは、受診申込みの中で、配慮を要する場合、記載できる欄を設けていることが確認できています。町田市も、他の事例を参考に、市の状況を確認し、研究していきます。



フォトサロン廃止を見直すべき



松岡みゆき（無所属）

町 フォトサロンは写真家秋山氏の協力で開館し、市民の写真展示場、障害者の働き場であり、廃止を見直すべき。

文化スポーツ振興部長 寄附された全ての作品を親族に返還したことで、当初の目的の一つであった秋山氏の写真展示施設としての役割を終え、現在は文化施設として位置づけを変更しているところですが、容器包装プラスチック



名建築に選定された市立博物館



うつのぶこ（諸派）

町 町田市立博物館が6月、ドコモ・ジャパンより「日本におけるモダン・ムーブメントの建築」に選ばれたが、市はどう受け止めているか。

文化スポーツ振興部長 通知が26年6月に届いています。建物の保存を義務づけるものではないと認識しています。

違反シール貼付の未収集ごみ袋。未収集の基準は。環境資源部長 収集袋越し



子どもポ／犬猫



はせがわ圭亮（無所属）

町 住宅擁壁改修・補強等に対する本市独自の助成制度の創設を検討してはどうか。

都市整備担当部長 市としては、国や都、ほか自治体の動向を注視するとともに制度の資料収集を行っています。

今後、本市独自に夜間中学に関するニーズ調査を実施する考えはあるか。

学校教育部長 都内に8校の夜間中学が設置されており、



擁壁・夜間中学



はせがわ圭亮（無所属）

町 住宅擁壁改修・補強等に対する本市独自の助成制度の創設を検討してはどうか。

都市整備担当部長 市としては、国や都、ほか自治体の動向を注視するとともに制度の資料収集を行っています。

今後、本市独自に夜間中学に関するニーズ調査を実施する考えはあるか。

学校教育部長 都内に8校の夜間中学が設置されており、



不適切指導・暴力疑いは報告を



矢口まゆ（諸派）

町 平成25年の文科省通知の内容は、体罰等に関しては、相談を受けた時点で市教委に報告するという意味だと考えるが、市教委の認識はどうか。

指導室長 教職員の服務監督権の一義的なものは校長が有しており、校長が調査の結果、服務事故に該当しないと判断したもののについては、報告をするとは限りません。

性暴力等に関する法の施行に合わせて、不適切な指導や暴力も、性暴力等も、相談を受けたもの全て市教委に報告するようにすべきでは。

指導室長 校長が事実確認の結果、服務事故もしくは職務事故に該当するおそれがあると判断した場合、直ちに報告するものと、性暴力のよう



市職員人財確保



佐藤伸一郎（無所属）

町 人手不足の時代にあっても、将来にわたって適切な市民サービスを提供し続けるため、市の職員定数の考え方と、人材確保の将来ビジョンについて問う。

市長 環境変化への対応と備え、事務事業見直しの推進、業務の担い手の最適化、組織力の強化の方針に基づき、27年度から5か年の職員定数管理計画を策定してまいります。



団地再配置を創出でミライ

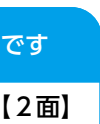


今村るか（まちだみらい）

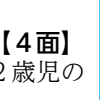
町 教育長には激甚化・頻発化する災害に臨機応変に対応し子どもたちの命を守る決意を保護者に伝えてください。

教育長 学校が安心できる場所であるよう、そして校外で教育活動が行われている際でも、児童生徒の安全を守ることも、保護者等へも適切な情報提供ができるよう、最善を尽くしていきます。

複数の団地を再配置し



団地再配置を創出でミライ



今村るか（まちだみらい）

町 居住者環境の充実とミライのまちづくりの用地を確保すべきだが、団地再配置をどのように取り組むのか問う。

都市づくり部長 大規模団地の再配置、再生に当たりましては、各団地の地域特性や団地事業者の意向を踏まえ、周辺地域の人口推移や多摩都市モノレール町田方面延伸などの環境変化から、居住ニーズや将来の需要に応じた再配置を推進していきます。

用語の解説 本文中の青文字の解説です

○アンダーパス

交差する鉄道や道路などの下を通過するため、周辺の地面よりも低くなっている道路のこと。近年、全国各地で多発する集中豪雨（ゲリラ豪雨）により、アンダーパスの冠水により車両が水没などの重大な事故が発生している。

○TKB48

トイレ（T）、キッチン（K）、ベッド（B）を、避難所に48時間以内に整えることを常識にする、という取り組みのキャッチフレーズ。

○水の官民連携

水道・下水道などの水インフラの維持管理や更新において、行政と民間企業が協力して取り組む官民連携の手法。民間企業が持つ技術力・ノウハウ・効率的な運営手法を活用することで、安全で持続可能な水インフラを将来にわたって確保することを目指す。

○幼稚園型Ⅱ

幼稚園において、保育を必要とする0～2歳児の受け皿として、定期的な預かりを行う事業。

【2面】

【2面】

【3面】

【4面】

審査から 令和 7 年度 決算を審査

本定例会では、決算についても各常任委員会で審査しました。各常任委員会では活発に質疑が行われ、決算審査の結果「認定すべきもの」と決し、多数の意見が付されました。

健康福祉

9月9日・10日・16日
に議案5件、認定2件
の審査を行いました。

令和 8 年度 (2026 年度) 町田市病院事業会計 補正予算 (第 1 号)

委員 25 年度、あくまでも物価上昇とか、緊急的融資として 20 億円を入れて、今回、新たに長期貸付けを入れるという事になったが、説明をお願いしたい。

経営企画室長 26 年の診療報酬改定、また、4 月に入り経営改善なども進めており、当初予算における入院収支は、まずは病床利用率 85% の計画まで何とか対応していく、入院患者を増やしていく、平均患者数を増やしていくことで予算計上させていただいたところだ。ただ、直近の実績は、26 年度の病床率は 76%、今、85% に到達していない状況です。25 年度の決算でありました 70・9% から 5 ポイン

ト以上上げてきており、救急応需なども高めているところですが、なお当初予算のときに目標とした 85% には届いていない状況です。また、診療報酬改定も救急医療が評価いただき、予測より多く入ってくる事が加わったところですが、物価高騰、現状の病床利用率の中では資金を確保できるところには至っていないところでしたので、今回、繰り出し金及び長期借入金投入していたのが現状です。

委員 病床使用率の低下は、コロナで受診動機が変化したことに伴うものだろうが、ほかの原因というのは考えられないか。

経営企画室長 受診行動の変化に加え、手術の手法など、医療技術の発展による平均入院日数の短縮というところがあると思います。

総務

9月9日・10日・16日
に議案5件、認定1件
の審査を行いました。

町田市民農園条例を廃止する条例

委員 市民農園が廃止になるということ、これまでの市民農園の果たしてきた役割と、条例がなくなることによって今後の町田市の農業への影響はいかが検討されたのか。

農業振興課長 18 年 9 月に都市農地の貸借の円滑化に関する法律が施行され、今までは行政もしくは J A しか市民農園は開設できなかったんですが、民間でも市民農園を開設するようになり、市内でも複数の市民農園が開設されています。また、市民農園ではないですが、体験農園ですとか、観光農園といったスタイルの農園も増えてきてまして、いろんなニーズに適合した農園が今市内で増えているところですので、民間サービスと

競合するようなところは、行政としては撤退したほうがいいというところの判断です。

委員 民間農園ができたことによって、市が果たす役割は特に必要がない、実際になくなっていくということを受けていいのかわかるか。

農業振興課長 今後の市の役割というところで、大きく 2 つあると思っています。1 点は、既に開設されている民間の農園を、ホームページ、「まち☆ベジ B O O K 大地の「ごちそう」ですとか、そういったもので広く P R していくということになります。2 点目はすけれども、農業者、農地所有者の方に對し、いろんな制度で農園が開設できる状況になっていきますので、自ら農業をするのが難しい場合は、開設に向けて支援をしていくということを考えています。

決算審査（健康福祉） 認定すべきものと決定

- 成年後見制度については、本人の判断能力や支援の必要性に応じて、後見・保佐・補助を適切に選択し、本人の意思と尊厳を尊重した運用が求められる。
- 市は、必要なときに必要な範囲で利用できる制度への見直しや、デジタル遺言制度を含む国の法改正の動向を注視するとともに、身寄りのない高齢者や障がい者に寄り添った相談・支援体制の充実と、成年後見制度のさらなる周知に取り組まれない。
- 民生委員の活動内容を市民に周知し、欠員の解消を図るため、積極的に取り組まれない。
- ケースワーカーが、安心して生活困窮者の相談にのれるよう、増員など体制の強化を図られたい。
- ゲートキーパー養成講座について、より多くの市民が受講できるよう、オンライン開催の特性を生かし、募集人数や開催方法の工夫など受講機会の拡充を図られたい。
- 産後ケアの利用者の声やニーズを踏まえ、経産婦を含め、希望する方が安心して利用できる受け入れ体制及び利用環境のさらなる充実を図られたい。
- プレママパパクラスの開催においては、男性の参加率向上も目指し、土日開催やオンライン等も検討され、外部委託化も含め、より利用しやすくなるよう体制づくりに努められたい。
- 国民健康保険事業会計において、市はデータヘルス計画に基づき、A I を活用した受診勧奨など、特定健康診査や特定保健指導に関する先駆的な取組を進めている。その実施内容や効果を広く市民に周知するとともに、A I の分析結果をより効果的な受診勧奨や保健事業につなげ、特定健康診査の受診率向上に向けて、より一層取り組まれたい。
- 要介護度改善ケア奨励事業においては、高齢者をとりまく環境の変化を見据え、要介護度改善につながるより効果的な取組となるよう、事業内容や対象者の見直しを図られたい。
- ジェネリック医薬品使用の啓発に向けて取り組まれたい。

【認定第 3 号】

- 小児、周産期救急をはじめ、公立病院として担うべき政策的医療及び不採算部門については、借入金でなく、負担金とするよう検討されたい。
- 市民病院の食事においては、尚一層喫食者の意見を反映させた食事づくりに努められたい。

など計 70 件の意見を附帯決議として付しました。

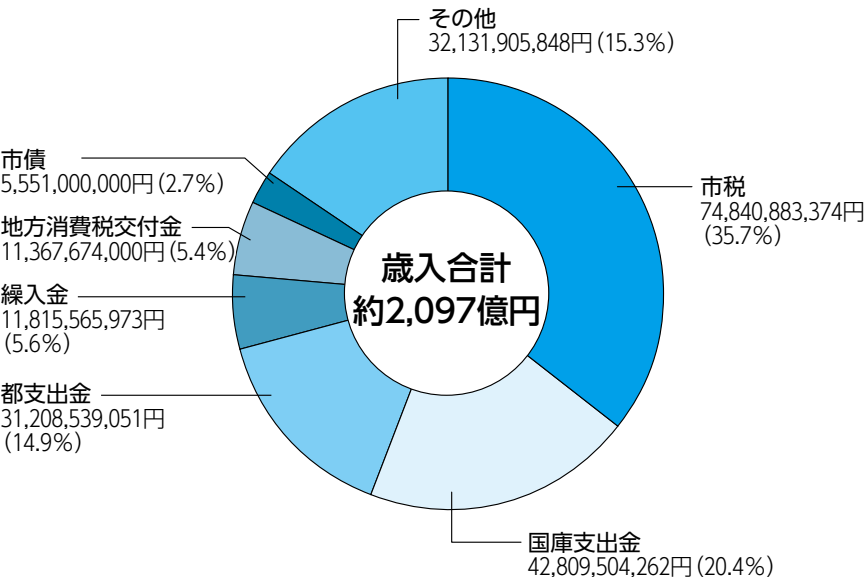
決算審査（総務） 認定すべきものと決定

- 郵送業務について、発送方法の見直しをさらに進め、郵送料の上昇も踏まえ、市民の利便性に配慮しながら、郵送件数及び郵送経費の削減に努められたい。
- 指定管理者等に対する労働条件（環境）審査及びモニタリングに際し、労働関係法令の頻繁な改正に適応すべく、研修などの取組を強化されたい。
- 女性管理職の拡大にさらに取り組まれたい。
- 職員のメンタルヘルス対策について、早期相談や休職予防、円滑な職場復帰及び復職後の定着まで切れ目のない支援を充実されたい。
- 工事請負契約締結に際し、各種施策（余裕期間制度、発注時期の平準化、入札制度の逐次見直し等）を最大限活用し、意欲ある市内事業者の活用を積極的に進められたい。
- D X の推進にあたっては、利用状況や市民の声を踏まえ、市民が利便性の向上を実感できる行政サービスにつなげられたい。
- 生成 A I の業務活用の際、そのメリット・リスクを周知徹底し、組織としての業務最適化はもちろんのこと、職員個人の能力向上に資するよう取り組まれたい。
- 次世代自動車導入促進と導入費低減に向けた検討に努められたい。
- 経営改革については、業務改善に取り組んだ件数だけでなく、改善後の業務時間や経費の削減、市民サービスへの効果についても継続して検証されたい。
- 明るい選挙推進委員の増員と特に若年者採用に取り組まれたい。
- 勤労者福祉サービスセンターについては、加入事業所数の減少が続いていることから、魅力向上に努め、加入促進及び自主財源の確保など持続可能な運営に取り組まれたい。
- 町田市文化交流センターの稼働率向上に向けては、利用者の声を聞き、その改善に努められたい。
- 「町田リス園基本計画」策定に当たっては、運営法人や通所者の意向を十分尊重されたい。
- 消防団員定数割れが 3 年連続で継続している。具体的な数値目標を設定した上で、若手・女性団員の獲得に向けた取組を強化されたい。
- 消防団員の負担軽減のため、報告書等の事務作業についてのデジタル化を推進されたい。
- 自主防災組織への加入世帯数・補助金交付額が減少傾向にある。申請忘れ等への周知にとどまらず、若い世代・単身世帯等への加入促進策を具体的に講じられたい。
- 自主防災組織や町内会・自治会等で避難訓練などが行えない組織や地域の調査を行い、実態を把握されたい。

など計 78 件の意見を附帯決議として付しました。

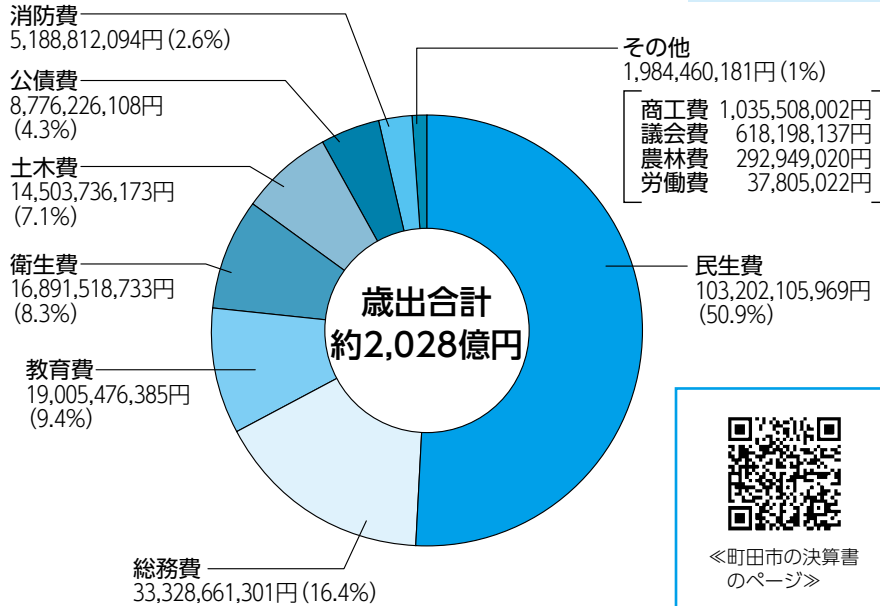
令和 7 年度 歳入決算額の内訳（一般会計）

歳入合計額
209,725,072,508 円



令和 7 年度 歳出決算額の内訳（一般会計）

歳出合計額
202,880,996,944 円



≪町田市の決算書のページ≫

付託された議案等を審査委員会

町田市議会には、4つの常任委員会が設置されており、本会議で付託された議案・請願、所管事務調査による行政報告等、各所管事項について詳細にわたり審査を行っています。その中から、各常任委員会の主な審査状況をお知らせします。

建設

8月27日、9月11日・14日・18日に議案10件、認定2件、請願2件の審査を行いました。

令和8年度（2026年度）町田市一般会計補正予算（第3号）
中心市街地まちづくり推進事業

委員 同地区内で複数の不動産取引が行われ、宅地開発や建物の更新が進んでいる状況を考慮し、今回の土地取得をするという説明だが、具体的にどういった動きがあるのか。

中心市街地開発推進室長 市としては、21年からまちづくり勉強会を開始して地権者と一緒に協議を続けてきているわけですが、26年度までの間で幾つか森野住宅周辺地区の土地が売買されて、実際にアパートだったりとか建物が建っているということが起こっています。

委員 今現在、まちづくり勉強会からまちづくり協議会

文教社会

9月11日・14日・18日に議案8件、認定1件、請願2件の審査を行いました。

町田市立町田第五小学校ほか10校給食室空調和設備設置工事（設計施工一括発注方式）請負契約

委員 多くの市内事業者が参加できるような受注機会の確保という観点も重要ではないかと思っているが、どういった考えで設定していたのか。

保健給食課長 プロポーザル方式の評価項目には市内業者の活用も評価対象としており、受託事業者からも積極的に市内専門業者を活用していく旨の提案を頂戴していますので、提案に基づいて整備を進めていきたい。

委員 工事期間が延び、お弁当を持ってくるというケースがあったと思うが、給食提供に影響がないよう、どのように認識をされているのか。

保健給食課長 安全安心な

おいしい給食を提供するというのを中止にしてまで設置を早めることは考えていません。遅れざるを得ないということであれば、期間を延長して、影響がない範囲で調整することと考えています。

町田市民ホール及び町田市鶴川緑の交流館の指定管理者の指定について

委員 財務の評価をする専門家なしで選定会議を行うこと、評価することに問題はなのか。

文化振興課長 非公募で選定を行う手続は、町田市指定管理者制度ガイドラインにて、施設所管部は部内選定会議等において公募選定と同様の採点表を用いて提案書を採点し、最低基準点を満たしていることを確認すると定められており、選定を行ったものです。

町田市立町田第五小学校ほか10校給食室空調和設備設置工事（設計施工一括発注方式）請負契約

委員 多くの市内事業者が参加できるような受注機会の確保という観点も重要ではないかと思っているが、どういった考えで設定していたのか。

保健給食課長 プロポーザル方式の評価項目には市内業者の活用も評価対象としており、受託事業者からも積極的に市内専門業者を活用していく旨の提案を頂戴していますので、提案に基づいて整備を進めていきたい。

委員 工事期間が延び、お弁当を持ってくるというケースがあったと思うが、給食提供に影響がないよう、どのように認識をされているのか。

保健給食課長 安全安心な

決算審査（建設）

認定すべきものと決定

- 監査意見書はしっかりと目を通し、当てはまることがないか、確認してもらいたい。
- リチウムイオン電池等による火災防止のために、引き続き啓発活動の実施に努めると同時に、検知装置等、除去する仕組みの導入も進められたい。
- ごみの減量を引き続き推進するとともに、多摩26市の中で低い水準にある資源化率の向上に向け、容器包装プラスチック及び製品プラスチックの資源化や、燃やせるごみに混入しているリサイクル可能な古紙の分別・回収を着実に進めるなど、さらなる資源化施策の充実にも努められたい。
- 生ごみ処理機等購入補助金については、家庭から排出される生ごみの減量・資源化を推進することを目的としていることから、資源化された生成物の回収・活用についても検討されたい。
- 資源のさらなるリユースのため民間との協業をさらに進められたい。
- 雨水浸透設備や雨水貯留設備の拡充とあわせて、グリーンインフラ導入も検討し、雨水流出抑制対策の推進を図られたい。
- 道路補修については、事後的な流用対応を減らすためにも、近年の自然災害の状況も踏まえ、「路面下空洞調査」など、予防保全型の調査・対策についても積極的に検討されたい。
- 土地境界図等の発行については、オンライン化の検討を進められたい。
- 住居表示を進める際は、地番整備も、一緒に行われるよう努められたい。
- 遊具の定期点検表について、J P F A の項目から除外しているものがないか、点検結果をより分かりやすく記載する方法がないか、見直しを検討されたい。
- 木曽山崎地区まちづくりについては、団地住民が安心して住み続けられるコンセプトを検討されたい。

【認定第2号】

- 老朽化が進む下水道管路の維持管理・更新について、市職員に必要な技術力を維持・継承しつつ、民間事業者の技術やノウハウを活用し、予防保全及び維持管理と更新の一体化を図るため、ウォーター PPP の導入を着実に推進されたい。
- 国庫補助金について増額を要請されたい。
- 昨年の決算認定でも付された付帯決議の「効率化・経費削減」の成果を市民にもわかりやすく示すと共に、民間との協業効果が確実な手法を導入し市民の負担が増加しないよう努められたい。

など計60件の意見を附帯決議として付しました。

決算審査（文教社会）

認定すべきものと決定

- 町内会の負担を軽減するため、引き続き、町内会活動のデジタル化を支援する取組の推進に努められたい。
- 認可保育所等の待機児童数が増加していることを踏まえ、保育需要を的確に把握し、さらなる待機児童対策を進められたい。
- 学童保育クラブ毎に施設環境は異なるので、運営者の声を聞きながら、施設整備及び備品について、恒久策と応急策を丁寧に整理されたい。
- 大地沢自然交流サイトは順調に利用者が増えているが、さらにイベントや使い勝手などを充実させ、名所化に向け尽力されたい。
- 発達検査の実施にあたっては、待ち時間のさらなる短縮に努めるとともに、早期の支援開始に向けた相談・受入体制の拡充を図られたい。
- 市民のニーズに即した学習会等が実施できるよう、消費生活センター運営協議会へのさらなる支援に努められたい。
- 副校長補佐の配置の拡充をされたい。
- 中学校給食の生徒への「満足度調査」を継続し、得られた意見を活かして献立の改善や環境改善などに取り組み、利用者満足度向上に向け、引き続き努力されたい。
- 中学校の部活動地域連携・地域展開については、部活動指導員を市がさらに確保し、学校、保護者の声をよく聞いて受け止め、現場の負担軽減と、保護者が負担する部活動費の補助金拡充に努められたい。
- hyper- Q U を更に活用されたい。
- 考古資料室について、デジタルミュージアムの成果を実際の史跡見学等へつなげるため、市内遺跡を紹介する動画コンテンツ等の拡充および現地への誘引施策を講じられたい。
- 市民ホールについては、施設利用率及び入場者数が目標を下回っている要因を分析し、利用率向上に向けた取組を進められたい。
- 図書館プランナー事業において、継続して参加する高校生、学生などが増えていくよう、工夫して取り組まれたい。
- 町田市民文学館においては、ペーパーレス化によるコスト削減効果やSNS等の周知効果を評価・分析し、デジタルと紙媒体の最適なバランスを図りながら効果的な広報を展開されたい。
- 各部所管施設における利用者向け Wi-Fi については、施設の利用実態を踏まえ、必要な施設への整備を進められたい。

など計106件の意見を附帯決議として付しました。

可決した主な議案の内容

第76号議案 町田市民農園条例を廃止する条例

農地の使用貸借契約の満了に伴い、市民農園を閉園するため、本条例を廃止するものです。

第79号議案 東京都市公平委員会共同設置規約の変更について

東京都市公平委員会を共同設置する団体が名称変更したことに伴い、東京都市公平委員会共同設置規約を変更するため、提出するものです。

第81号議案 鶴川駅南北自由通路昇降設備等整備工事請負契約

鶴川駅周辺再整備事業に伴い、円滑な通行と交通の安全を確保するために工事請負契約を締結するものです。

第84号議案 住居表示を実施する市街地の区域及び当該区域内の住居表示の方法

住所をわかりやすくするため、森野六丁目地区について、住居表示実施区域及びその方法を定めるものです。

第85号議案 市道路線の認定について

開発行為に伴い築造された道路を市道として認定するものです。

第86号議案 市道路線の廃止について

道路として機能のない路線等を廃止するものです。

～常任委員会の活動状況～

町田市議会では、常任委員会の活動として、市内の各種団体の皆さんと懇談会を開催し、市民と議会の意見を交換する場としています。懇談会で出された意見については、議会活動に反映させていただきます。10月までに開催した懇談会は次のとおりです。

日付	団体名	内容	対応した常任委員会
9月25日	町田市障がい児者自立支援研究・研修会	様々な障がいの特徴に応じた防災対策についての説明と対策案 等	総務
9月28日	まちされん	町田市における障害福祉の状況についての説明 等	健康福祉
9月28日	公益社団法人東京都柔道整復師会 町田支部 町田市柔道整復師会	活動報告について	健康福祉
9月28日	東京養育家庭の会	養育家庭についての意見交換	文教社会

議員提出議案

意見書・決議 (要旨)

本定例会では意見書 4 件・決議 1 件を可決し、議長名で関係行政庁等へ提出しました。要旨は次のとおりです。

交通事故等による被害を受けた胎児に係る法整備を求める意見書

胎児の生育状況が医学的に把握できる現代に被害発生時点によって法的評価や取扱いに大きな差が生じている。よって、次の事項の速やかな実施を強く要望する。①胎児が出生後に死傷した時、自動車運転処罰法等の処罰規定について刑法上の見直しも含めた議論を行うこと。②死傷した胎児も刑事訴訟法の犯罪被害者参加制度における被害者としての地位が認められるよう運用改善を図ること。③交通事故で出生前に障害を負った子供と家族が一生医療や福祉を受けられるよう自賠責保険制度の拡充、公的な被害者支援体制の充実を図ること。

内閣総理大臣ほか5件宛て

国際刑事裁判所の独立及び活動を支持する決議

夏休み中の子どもの貧困対策および緊急セーフティネットの強化を求める意見書

長引く物価高騰や夏休み中の学校給食の停止により、子どもへの欠食や栄養不足、猛暑による健康リスク、家庭の孤立が課題となっている。そこで、子どもが安心して過ごせる涼しい居場所と食を確保し、必要な支援につながる「夏休み子ども緊急セーフティネット」の早期確立のため次の事項を求める。①身近な公共施設の拠点化と涼しい居場所・食の確保。②地域における食料供給ラインの強化と政府備蓄米の活用。③アウトリーチ型支援と情報発信の強化。④困窮世帯向け「子どもの学習・生活支援事業」の拡充。

内閣総理大臣ほか4件宛て

「防災庁」発足を見据えた地方自治体との連携強化および防災体制の抜本的強化を求める意見書

意と力強い連帯の意を表するものである。

また日本国政府に対し、赤根智子裁判所長をはじめとする国際刑事裁判所関係者がいかなる威嚇又は不当な干渉を受けることなく、その職責を全うし得るよう、加盟国その他関係諸国と緊密に連携しつつ、国際刑事司法の維持及び強化並びに法の支配に立脚した国際秩序の確立に向け、一層主体的かつ積極的な役割を果たすよう強く求める。

るよう強く求める。

①猛暑期の避難生活における衛生環境の改善とトイレ対策。
②災害関連死を防ぐための医療・福祉チームの早期・広域派遣。
③被災自治体への総合調整人材の派遣と受援体制の強化。
④ガソリン等緊急用燃料の安定・優先供給体制の確立。
⑤複合災害・二次災害防止に向けた監視・警戒体制の徹底。

内閣総理大臣ほか4件宛て

化学物質過敏症に関する対策強化を求める意見書

化学物質過敏症は、香料や柔軟剤、農薬、建築材料等の微量な化学物質に反応し、頭痛や倦怠感、呼吸困難などが生じ、就労・就学や日常生活にも深刻な影響を及ぼす。一方、診断基準や専門医療体制が十分でないことを踏まえ、国に対し次の対策を強く求める。①全国的な疫学・実態調査の実施。②客観的診断基準の確立と専門医療体制の整備。③学校・公共施設等の環境対策と「香害」啓発の推進。④就労・就学現場における「合理的配慮」の提供徹底と環境整備。⑤相談支援体制の構築と社会的理解の促進。⑥発症メカニズム解明、治療・予防法確立への研究支援強化。

内閣総理大臣ほか5件宛て

本会議の質疑から

条例・その他

町田市立室内プールの指定管理者の指定について

議員 指定管理料の算定にあたり、今後見込まれる人件費や物価の上昇をどのように考慮されたのか。

総務部長 市と指定管理者は基本協定書を締結し、指定管理期間中における物価や金利、需要の変動に伴う経費の増減は指定管理者の負担と規定しています。そのため、指定管理者は応募時の提案にて、原則として上昇分を見込んだ各年度の指定管理料を算出し、この金額を含めた提案内容を施設所管部署が総合評価により指定管理者として選定し、その金額は指定期間の指定管理料となります。

議員 工事においてインフレスライド条項があるが、指定管理も市として何か統一的な基準があって、それに基づいた結果ということでしょうか。

総務部長 基本協定書にて、指定管理期間中における物価や金利、需要の変動に伴う経費の増減は指定管理者の負担とすること、それから、収支計画に多大な影響を生じた場合には、両者で協議できることを定めています。この内容は、全庁的な指針として指定管理者制度を導入する際に活用している基本協定書の標準様式に明記しているもので、市の統一的な基準に該当するものと考えています。

第9回

高校生との意見交換会の開催について

今年で9回目となる高校生と町田市議会議員の意見交換会を次のとおり開催します。

日時 11月1日(日) 13時30分～16時

内容 以下のテーマに沿って意見交換をします。

テーマ①「町田がもっと良いまちになるためには？」

テーマ②「投票に行く人に行かない人の差はなんだろう？」

※詳細は、町田市議会ホームページをご覧ください。また、過去に開催した際のダイジェスト動画や写真等も公開しています。高校生と市議会議員の活気ある意見交換の雰囲気をご覧ください。

森本 せいや (8月24日付)

「会派脱退」

「会派結成」

「諸派」

森本 せいや (8月24日付)

会派の動き

ダイジェスト動画も公開中!

ぜひご覧ください!!

「意見交換会のページ」

前回の意見交換会の様子

令和7年度政務活動費会派別収支報告一覧表											
(単位:円)											
会派名	まちだ市民クラブ	自由民主党	公明党	日本共産党	選ばれた町田をつくる会	無所属	諸派 (おぜき重太郎・矢口まゆ)	諸派 (熊沢あやり)	諸派 (中川幸太郎)	諸派 (秋田しづか)	
所属議員数※1	6人	6人	5人	4人	3人	3人	2人	1人	1人	1人	
交付月数	令和7年5月20日付で1人辞職、令和8年2月8日付で1人辞職のため、7人は12ヶ月分、1人は辞職までの2ヶ月分、1人は辞職までの11ヶ月分	令和7年10月7日付で1人会派加入のため、5人は12ヶ月分、1人は加入後の5ヶ月分	令和7年5月20日付で1人辞職のため、5人は12ヶ月分、1人は辞職までの2ヶ月分	12ヶ月分	令和8年2月8日付で1人辞職のため、4人は12ヶ月分、1人は辞職までの11ヶ月分	12ヶ月分	12ヶ月分	令和7年10月7日付で会派解散のため、解散までの7ヶ月分	12ヶ月分	令和8年2月8日付で辞職のため、辞職までの11ヶ月分	
収入額(交付額)※2	5,100,000	3,900,000	3,720,000	2,880,000	2,820,000	2,160,000	1,440,000	420,000	720,000	660,000	
実支出額	人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	調査活動費	1,123,166	540,654	1,477,693	42,506	303,514	473,687	28,696	0	46,470	0
	研修・研究・会議費	36,998	21,000	6,000	0	4,000	27,080	0	0	0	104,600
	資料作成費	0	0	0	0	0	60	0	0	0	0
	資料購入費	365,032	640,141	392,391	163,080	168,626	196,917	0	0	0	8,020
	広報費	3,835,032	2,503,561	193,577	1,579,820	2,495,060	1,606,392	610,833	0	0	75,866
	通信運搬費	266,785	30,250	259,934	0	257,170	246,607	78,262	0	0	35,772
	事務費	350,956	196,750	421,506	419,334	175,933	153,196	0	0	0	32,387
	合計	5,977,969	3,932,356	2,751,101	2,204,740	3,404,303	2,703,939	717,791	0	46,470	256,645
残余金(返還額)	0	0	968,899	675,260	0	0	722,209	420,000	673,530	403,355	

※1 町田市議会議員選挙により、令和8年3月8日までが任期となっています。年度中に解散した会派については、解散日時点の人数です。

※2 収入額(交付額)は、各月1日(基準日)における会派の所属議員数に、月額6万円を乗じて得た金額の月数分です。

9												8	月
30	18	16	14	11	10	9	8	7	4	3	2	1	28
水	金	水	月	金	木	水	火	月	金	木	水	火	金
議会運営委員会	本会議(表決)	(文教社会・建設)	常任委員会	(総務・健康福祉)	常任委員会	常任委員会	本会議(質疑)	議会運営委員会	本会議(一般質問)	本会議(建設)	議会説明会	議会説明会	本会議
30			3	45	3		4	31	37	9	18	15	1
													20
傍聴者数:216名													